

# 油断大敵！！

## 他人事ではない 水難事故のおそろしさ

夏休みが始まり、本格的な夏を迎えました。家族や友人とレジャーに出かける方も多くいらつしやると思います。今号では、その中で特に水辺でのレジャーを楽しむ際に、気を付けていただきたい「水難事故」について特集します。

昨今のアウトドアブームに乗って、川辺・海辺でバーベキューや水遊びを楽しむ方が増えています。自然とふれあいながら、家族や仲間と一緒にわいわいすごすのは、とても楽しいもので、夏のレジャーの定番となっています。また、暑い日にプールに出かけることも、気軽なレジャーとしてとても人気があります。

しかし、楽しいレジャーにも危険が隣り合わせで存在することを忘れてはいけません。

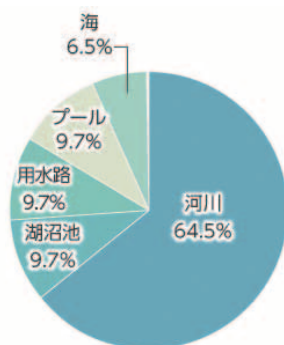
平成28年、水難事故は全国で1505件発生し、1742名の方が水難に遭っています。そして、そのうち816名の方が命を落としています。

過去10年間の推移を見ても、水難者は1500名から1900名強の間を推移しており、そのうち死者・行方不明者は700名から900名となっています。

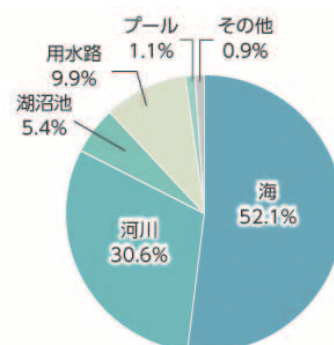
つまり、水難に遭われた方のうち、**半数が命を落としている**ということになります。

水難事故は、いったん起きると、命にかかわる重大事故になる可能性が非常に高いということです。

平成28年 水難の場所別死亡・行方不明者の割合



中学生以下の子ども(31名)



全年齢(816名)

出典：政府広報オンライン

